

スーパーグローバル大学創成支援事業 令和2年度中間評価結果

大 学 名	創価大学
整理番号	B20
構 想 名	人間教育の世界的拠点の構築 -平和と持続可能な繁栄を先導する「世界市民」教育プログラム-

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) S	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
<p>(コメント)</p> <p>本構想は、人間教育の世界的拠点の構築-平和と持続可能な繁栄を先導する「世界市民」教育プログラム-という題目を掲げ、その構想で掲げた①グローバル・モビリティ、②グローバル・ラーニング、③グローバル・アドミニストレーション、④グローバル・コアの4つの取組が順調に着実に推進され、数値目標も多くが達成されているだけでなく、アウトカムも確認できる。</p> <p>構想を推進するための体制が着実に整えられて、グローバル化を推進するための基盤となっている。平成29年度中間評価時に指摘されたグローバル・コア・センターと各学部の役割の連携効果についても、グローバル・コア・センターにおいて各学部長、国際部・教務部及び関係部局の代表が参加する「グローバル教育推進会議」と「大学院グローバル教育・研究推進会議」が開かれ、学部間・研究科間での協議・総括が行われることにより、より円滑な連携が取られていることも評価できる。</p> <p>「平和」「開発」「環境」「人権」分野の研究・教育活動が着実に進展していること、特徴的なアフリカへの留学といった大学の特性を生かした取組も進展している。</p> <p>成果指標と達成目標については、若干、目標値を下回る項目もあるが、概ね全体として成果指標に基づき順調に進展しており、目標値を達成している。</p> <p>大学独自の成果指標と達成目標については、令和元年度後半にはコロナ禍の影響があり、数項目が目標値を下回っているが、多くの項目が目標値を上回っており、創価大学の特徴でもあるアフリカ諸国への留学派遣数は、令和元年度においては目標値を大幅に上回っているなど、その特徴を着実に生かしている。</p> <p>財政支援期間終了後を見据えた自走化については、「グランドデザイン2021-30」が自走化計画の基盤にもなるなど、寄付金獲得も含めて、基金化の計画はしっかりと立てられており、妥当であること、令和2年度には、既存の第3号基本金を一部組み替え、SGU事業の基金を新たに設置し、SGU寄付事業、50周年寄付事業を行い、寄付事業として目標額を達成しつつあるなど、SGUの自走化計画への具体化も進捗しているなど優れた計画が進捗していることも評価に値する。</p>	